

長野市総合計画審議会作業部会 会議概要（報告）

会議名	市民フォーラム21 第6回 防災・安全部会	
日時	平成23年1月20日（木）午後3時から午後4時16分	
会場	長野市役所第一庁舎8階 第一委員会室	
出席者	作業部会員 (敬称略)	青木 邦一、羽藤 公夫、松岡 保正、猪俣 正由、袖山 孝史、原 覚 本道多加子
	関係課員	危機管理防災課、交通政策課、都市内分権課、市民課、厚生課、保健所総務課、保健所健康課、森林整備課、商工振興課、道路課、河川課、維持課、建築指導課、配水管理課、消防局総務課、消防局警防課、消防局通信指令課、企画課（事務局）

I 会議次第

- 1 開 会
- 2 部会長あいさつ
- 3 市民フォーラム21 第5回 防災・安全部会 会議概要について 別添資料
- 4 第四次長野市総合計画 後期基本計画 大綱（案）【防災・安全分野】について
 - (1) 第四次長野市総合計画 後期基本計画の体系（案）
 - 3 より安全で安心して暮らせるまち【防災・安全分野】 資料1
 - (2) 政策3-1 災害に強いまちづくりの推進
 - 311 防災対策の推進 資料2
 - 312 消防・救急・救助体制の充実 資料3
 - (3) 政策3-2 より安心して暮らせる安全社会の形成
 - 321 日常生活の安全性の向上 資料4
- 5 今後の予定について
- 6 閉 会

II 会議の概要（主な決定事項）

- 3 市民フォーラム21 第5回 防災・安全部会 会議概要について
別紙資料のとおり、確認した。
- 4 第四次長野市総合計画 後期基本計画 大綱（案）【防災・安全分野】について
 - (1) 第四次長野市総合計画 後期基本計画の体系（案）
 - 3 より安全で安心して暮らせるまち【防災・安全分野】 資料1
 - (2) 政策3-1 災害に強いまちづくりの推進
 - 311 防災対策の推進 資料2
 - 312 消防・救急・救助体制の充実 資料3
 - (3) 政策3-2 より安心して暮らせる安全社会の形成
 - 321 日常生活の安全性の向上 資料4

後期基本計画 大綱（案）【防災・安全分野】については、(1) から (3) まで、協議した上で、事務局からの提案のとおりまとめることとした。

III 会議の概要（質疑等）

- ①一級河川は、市として国交省に要望する形になるのか。浅川であれば県が整備することは知っているが。一般的には市が全部行ってくれると思っているのではないかと思うが。
- ⇒一級河川は、千曲川、犀川、浅川等あるが、市は、それぞれの管理者である国・県に整備等の要望することになる。また、整備を促進するため、地元地区の区長さんや役員さん等で組織する同盟会等があり、この同盟会を通じて、国や県に要望しているというような状況である。
- ②市内の排水路については、市が主体になって整備するのか。
- ⇒普通河川など、排水路は市が整備・改修等を行っている。
- ③市では、ダンプの貸し出しを行い、雪を乗せるのは住民の皆さんにお願いするということは以前お聞きした。どのような体制ができるかは分からないが、事業者等との協力の中で高齢者しかいない地域へ回ることもできるのかなと思う。
- ④事業者は雪をダンプに乗せて捨てに行ってくれというのは、ボランティアだけでは難しい。雪が降ってから入札して、業者決めるのでは時間がかかだろうし、難しい。課題であると思う。
- ⑤除雪の体制については、どうなっているのか。
- ⇒現在は、一次路線、二次路線と区分けして、市道の総延長の1/3程度を、幹線と生活重要路線を主に除雪体制をとっている。朝の通勤時を考慮し、7時までに除雪するものを一次路線と設定してある。二次路線は昼間の時間帯に除雪する設定としている。
- 体制として、市内133社に除雪の委託をしている。重機は266台で待機体制をとっているが、この不況の時代に事業者さんも重機の確保、保有が難しい状態がある。事業者の確保が難しい中、なんとか133社の業者にご協力いただいている状態である。
- 中山間地域には、小型除雪機を配備している。290台を市民の皆さんにお願いして、協力いただき地域中の道の除雪をしていただいている状況もある。
- 除雪の主な目的は、通行ができることであり、車が走れない、人も歩けないという状況にならないよう、まずはメイン幹線から実施している。わき道は、パトロールを実施しているが、すべてに目が行き渡らない状況があるので、住民の皆さんからの通報によって、現地確認をして除雪に入ることとしている。
- 除雪は脇に寄せることとなるが、次の降雪で除雪ができない状態となると、除雪した雪を排泄する。段階を踏んでやっていきたい。
- ⑥簡単に解決策は出てこないだろうが、どのように住民に協力してもらって、地域と業者がうまくいくような方策があれば、市民と地域と関係機関と連携の中で、方策が立てられれば良いと考える。
- ⑦災害というのは、規模によって、何をどう準備をすればいいか。30年に一度の雪害だったらどんなこと考えられるのか、百年に一度の降雨なら山間地はこうで、扇状地の出口ではこうでと、様々なこと考えておけば規模等に応じた災害対応を立てられるのではないかと。